

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
司 会	<p>ただいまより令和6年度第1回和泉市介護保険運営協議会を開催させていただきます。まず始めに、副市長の吉田より、開会のご挨拶をさせていただきます。</p>
副市長	<p>皆様こんにちは。和泉市副市長の吉田康人でございます。</p> <p>この協議会は市長の附属機関でございますが、他の公務と重なりまして今日は市長が出席できません。市長になりかわりまして私からこの協議会の開会にあたりましてひと言ご挨拶をさせていただきます。まずは、何と申しまして、今日のこの会議は委嘱期間が変わりまして、新たな第1回目の会議となります。私どもからのお願いに対しまして、ご快諾をいただきましたことを改めて厚く御礼を申し上げます。本来であれば委嘱状を1名様ごとに手渡しするところでございますけれども、会議を効率的に進めたいため、委嘱状を机上配付させていただいております。失礼ではございますが、ご了承をお願いしたいと存じます。</p> <p>さて、和泉市では令和6年3月に令和6年度から令和8年度の計画として第9期の高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画を策定いたしました。</p> <p>「共に支えあい いきいきと 心優しさ溢れる おたがいさまのまち和泉」を目指すべき都市の将来像として描きました。具体的には、健康寿命の延伸、重度化防止に向けた取り組み、高齢者の尊厳に配慮したケア対策の推進など様々な施策事業に取り組んでまいります。今年度から3ヶ年にわたりまして皆様方には計画の進行管理についてご審議を賜ります。ご提言をいただくことにもなりますので、よろしくお願いを申し上げます。また今期の介護施設の整備について計画をいたしておりまして、後ほどの事業者選定についてのご意見を賜ることになります。さらに地域包括ケアシステムがより良く推進できるようにこの計画の策定のあり方につきましても、あるいは進捗につきましても、様々なご意見をいただくこととなります。</p> <p>本日もよろしくご審議、ご協力賜ります様に最後に改めてお願いを申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。</p>
司会	<p>本協議会の委員につきましては、令和6年3月31日をもって任期満了となりましたことから、新たに各分野からのご推薦をいただき、また、被保険者代表3名に令和9年3月31日までを任期としまして委員をお願いするところでございます。本協議会の委員の皆様のご紹介をさせていただきます。（委員紹介）次に、事務局職員の紹介をさせていただきます。（職員紹介）</p> <p>改めて、本日の出席状況でございますが、委員総数15名に対し、現在14名の出席をいただいております。介護保険運営協議会規則第6条の規定を満たし会議が成立することをご報告申し上げます。本協議会では、「公開基準」に基づきまして、一般公開しております。本日につきましても傍聴を認めておりますが、傍聴希望者がおられないので、このまま進めてまいります。</p> <p>次第3「会長の選任及び職務代理者の指名について」ですが、介護保険運営協議会規則第4条の規定において、介護保険運営協議会の会長は委員の互選によって定められておりますが、いかがいたしましょう。</p>

委員 A	杉原委員にお願いしたいと思います。(異議なし)
司会	では、会長職を杉原委員にお願いいたします。 それでは杉原会長よりひとことご挨拶をお願いいたします。
会長	はじめまして、桃山学院大学の杉原でございます。私は桃山学院大学の方に赴任して2年目ということになります。以前は大阪府内で別の大学に勤務しておりましたので今年2年目ということで出席させていただきました。慣れないですが、皆様のご協力を得ながらこの協議会がスムーズに運営できるよう努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
司会	それでは、職務代理の指名につきましては、同じく介護保険運営協議会規則の規定により、会長が指名することとなっておりますので、杉原会長よろしくをお願いいたします。
会長	佐藤委員に職務代理をお願いします。
司会	会長と職務代理を選任いただきましたので、この後の進行につきましては、会長をお願いいたします。杉原会長よろしく申し上げます。
会長	本日はお忙しいなか本協議会へのご出席、誠にありがとうございます。本日の協議会は、報告が主なものとなっておりますが、委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただきながら、スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。 まずは次第4「令和5年度第5回介護保険運営協議会振り返りについて」の説明を事務局お願いいたします。
事務局	次第4「令和5年度第5回介護保険運営協議会振り返りについて」説明
会長	何かご質問等ございますか。特にないようですので、次は次第5報告事項についてですが、①「第9期計画について」事務局報告願います。
事務局	次第5「第9期計画について」説明
会長	何かご質問等ございますか。特にないようですので、次に②「令和5年度決算見込及び事業報告について」、③「令和6年度予算及び事業計画について」事務局説明願います。
事務局	②「令和5年度決算見込及び事業報告について」、③「令和6年度予算及び事業計画について」事務局説明
会長	何かご質問等ございますか
委員 A	資料3 サービス利用者数の計画数というところでサービス利用者の計画数、令和6年度は172,236人とおっしゃられたのですが、資料2 決算資料のサービス利用者数の数字をみると令和6年は20万人を超えるのではないかと予測されるのですが、実績と計画が乖離しているような計画は見直しが必要かと思うのですが、いかがでしょうか。
事務局	資料2のサービス利用者数の実績値は例えば居宅管理・療養指導という項目では一人の利用者で複数利用した場合にも実績として計上されていますが、資料3の計画数については複数利用しても1人として計上されている為、乖離しているように見えています。計画推計は正しくできておりますので、今後は資料の掲載方法を統一できるように考えて参ります。

委員A	わかりました。
会長	他に何か質問ございますか。
委員B	資料2の2ページのサービス利用者数の推移を見た場合に、介護予防サービスが令和4年度39,804人なのが、令和5年度には44,233人とかなり増加しているのですが、実際介護予防サービスの中で何が一番増加しているのか分かれば教えてください。
事務局	明確な要因というところが難しいところではありますが、認定者数で見ましたら要支援の認定者が令和4年から5年にかけてさらに増えているところもありますので、サービスを使われた方が増えたというふうに推測しております。予防サービス給付費の中で利用が多いのが計画冊子128ページに掲載ありますが、介護予防の訪問看護が増えています。最近訪問看護ステーションが非常にたくさん設立されております。
委員B	これは介護保険での利用のみの数字ですか。
事務局	介護保険での利用のみです。医療の部分は掲載しておりません。
委員B	これは恐らく施設、サービス付き高齢者住宅での利用ですね。
事務局	最近ではそういったものも増えてきているというように把握はしております。
委員B	1ヶ月半ほど前にNHKで大阪市長が、なぜ大阪市の介護保険料が全国1位なのか、夜の9時頃に1時間番組で放送されていて、驚きました。その中で視聴者からの質問で、なぜ大阪市の介護保険料が高いのか、老々介護とか単身者が多いとか色々原因があるとは思いますが、その中で出てきたサービス付き高齢者住宅の訪問介護とか、居宅介護サービスとしての訪問介護の増加が和泉市でも起こってきたと今日の資料をみて感じました。
会長	何か質問があればどうぞ。
委員C	先ほどのA委員の質問の確認ですが、資料2の実績と計画の中で書いてあるのは、延べ人数か否かということですね。これだけ介護保険サービスを使っているのであれば、予算も含めて今後必要ということではないのでしょうか。
事務局	給付費の見込みとしましては、実際に使っている方的人数で見込んで計算をしております。実績人数との違いはこちらも認識しておりますので、予算を算出する際には、居宅療養管理指導の前年の実績を見て、一人で複数使われる方がいることを認識したうえで、伸び率等も考えて予算は編成しております。
委員C	反映されているということであれば、計画と実績という形で、それを資料に書くべきだと思います。比較という部分において、わかりづらいと思います。予算には反映されているということで理解させていただきました。
会長	何か他にご質問等ございますか。特にないようですので、次に④「介護保険事業計画の実績と目標について」事務局より報告願います。
事務局	④「介護保険事業計画の実績と目標について」事務局より説明
会長	只今、報告・説明のあった内容について、何かご質問等ございますか。
委員D	例えば、基本目標3で地域包括支援センターの認知度が低いという報告がありました。和泉市としては4圏域に分けて事業をされているわけですが、この圏域別の

	詳細な資料というものはあるのでしょうか。
事務局	地域包括支援センターの取り組みにつきましては、各圏域ごとに毎月出していただいておりますので、内容によっては各圏域ごとに数値を把握しております。
委員 E	和泉市の圏域別でそれぞれ特徴とかが出てきているかとは思いますが、それに対しての考え方というのはどこかに示されているのでしょうか。この資料の数字は和泉市全体の数字になっていますが、4 圏域でそれぞれ特徴を押さえておかないと駄目なのではないかと思えます。
事務局	地域包括支援センターではいろいろな取り組みをしている状況ですが、本日の会議とはまた別に、地域包括支援センターの運営会議というものを開催しており、そちらで詳しい資料を出させていただき、ご議論をいただいている状況です。
委員 E	そちらで議論していただいているのですね。わかりました。
会長	他にございますか。
委員 F	地域ケア会議の開催数が圏域別でどれくらいになっているのかわかりますか。
事務局	地域ケア会議の開催につきましては、会議の種類として 3 種類程ございますがそれぞれ 1 圏域ごとに発表させていただいております。定期開催させていただいているものと、それから個別地域ケア会議ということで、必要なケースが出たときに検討させていただくものというように、固定のものと随時検討というものがあります。こちらにつきましても地域包括の運営協議会の方で詳細はお伝えさせていただいております。
委員 F	おたがいさまサポーターの人数ですが、資料によって数字が違うのですが、間違いではないですか。それと 4 1 0 人という人数ですが、どれくらいマッチングして活動していただいたのかお聞きしたいのですが。
事務局	数字については誤っております。確認して後ほどお伝えさせていただきます。おたがいさまサポーターの活動の実績ですが、3 月末時点で 5 8 件の活動が行われておりました。その中でサポーターの方が 5 8 件に対して 6 7 名に活動いただいております。
委員 B	少ないですね。
委員 F	マッチングが難しいってのはすごくわかります。 私の周りでもたくさん登録していただいているのですが、やはり人と人との事なのでその辺りが難しいのかなという課題があるのかと思えます。 また色々なところでご意見があればよろしく願いいたします。
会長	他に何か質問ございますか。 先ほどの質問について、事務局いかがでしょうか。
事務局	会議の開催数について令和 5 年 1 2 月末での数字で回答させていただきます。地域ケア会議ですが、第 1 圏域が 1 5 件、第 2 圏域が 1 4 件、第 3 圏域が 1 1 件、第 4 圏域が 2 1 件で、1 2 月末時点の合計は 6 1 件です。また年度末の数字につきましては、再度整理いたしまして、包括運営協議会のほうで報告させていただきます。

会長	他に何かご質問等ありますか。特にないようですので、 ⑤「令和5年度各種苦情・相談実績報告について」事務局報告願います。
事務局	⑤「令和5年度各種苦情・相談実績報告について」報告。
会長	只今、報告・説明のあった内容について、なにかご質問等ございますか。次に次第6「その他」について事務局説明願います。
事務局	次第6 「その他（施設整備事業者の選考）」について事務局説明。
会長	こちらにつきましての詳細は、後の地域密着型サービス委員会で合わせてご説明いただけるとのことですね。 他に委員の皆様から、または事務局から何かありましたらお願いします。
委員C	介護保険事業計画で高齢化人口が今後和泉市も増えていくという中で計画を立てられています。財政面というところで令和5年度の決算見込み、令和6年度の予算というところで、繰入金について、今後の見込みというのがありましたら教えてくださいませんか。
会長	今いただきました質問について、この場で回答できますでしょうか。
委員C	急でしたので、また後日で大丈夫です。
事務局	また後日お答えさせていただきます。
事務局	先ほど資料4のところ、おたがいさまサポーターの掲載の部分で数字の誤りがあった件ですけれども、正しくは410名が正しくなります。
会長	他に何かございますか。では特にないようですので、以上で運営協議会の議事および報告事項は全て終了いたしました。委員の皆様、ありがとうございました。
司会	最後に副市長の吉田よりお礼のご挨拶を申し上げます。
副市長	副市長の吉田康人でございます。市長にかわりまして法令によりまして今日総括をさせていただこうと思ひまして御礼のご挨拶をさせていただきたいと存じます。いくつかございますが主だったものに限らせていただきます。最初に佐藤委員の方から計画を見直さないといけないのではないかというご指摘がございました。それに関連いたしまして、まず一つ報告の仕方を改めていかないといけないということを、委員の皆様方からの様々ご指摘をいただきまして、改めて認識をいたしました。例えば実績値と計画値の単位が異なるというのは、これはもう駄目なことをやりまして、特に新しい計画につきましては、数値の単位をもう1回チェックをして、修正する必要がありましたら、年度末までに修正をいたします。もう一ついつも言っておりますが、集計との分析は違うという話で、今日皆様方に報告させていただいたのは全部集計ですね。きっとここで議論していただかないといけないのは、大きく変化があったものはその要因は何であるかということだと思ひます。新しい計画に基づいて令和6年度分からまた進捗報告させていただきますけれども、その報告につきましては、集計だけではなく、集計から私達市行政として分析した内容を、皆様方に申し上げまして、そして議論をしていただけるように改めていきたいとこのように考えております。次に個々のデータについてもご指摘をいただきました。特に包括支援センターの認知度につきまして委員の方からご質問がございまして、実はこのアンケート調査とは別

	<p>に、昨年度末に住民幸福の満足度調査というのをやっております。事細かに言うところ間がありませんので簡潔に申し上げますと、その調査によりまして地域包括支援センターを知らないと答えた住民の割合がちょうど50%ぐらいでございます。ところがご質問にもございましたように圏域毎にこれを見ると、全く知らないという方が52.5%の圏域と48%の圏域とがございまして、あまり差がないですけれども、さらに小学校区単位で見ると知らないと答えている割合が65.6%という校区と28.9%という校区とで大きな差が生じているという実態がございまして、認知度に私どもがこだわっている理由ですけれども、やはり福祉に対するリテラシーが高い人の方が幸福度やウェルビーイングと高いという研究結果もありますことから、まず知っていただくということが重要だろうというふうに思っております、この認知等については重要視いたしております。委員からご指摘がありましたように、包括圏域ごととか小学校区ごととか、あるいは性別年齢もあると思っておりますが、きめ細かい分析をいたしまして、認知度向上に向けて取組みしていきたいと思っております。一例を申し上げましたが委員からご指摘がありました地域ケア会議についても、きめ細かい集計に基づくきめ細かい分析をして、これから福祉の方がどうあるべきかということをしっかり分析、考察して、皆様方のご議論を踏まえて、新しい方針を打ち出していくというサイクルが回るようにしっかりやっていきたいと存じております。新しい委員の皆様方にはぜひ新しい視点でデータ結果のみならず、私達のこういう報告の仕方等についてもあり方等についても、本日のように引き続きご指摘をいただきますれば、私達もどんどん改革していきたいと改めていきたいと思っておりますので引き続きよろしくごお願い申し上げますことを述べまして最後のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。</p>
事務局	<p>これをもちまして、令和6年度第1回泉市介護保険運営協議会を終了させていただきます。引き続き、地域密着型サービス運営委員会に移ります。</p>
	<p>閉会</p>